

第16回全日本企業対抗ゴルフトーナメント大会 団体戦ルール	
～全予選・全地区決勝・全国決勝大会共通～	
1. ゴルフ規則	大会ローカルルール及び日本ゴルフ協会(JGA)ゴルフ規則2016を適用する。
2. 競技委員会の裁定	競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について 競技委員会の裁定を最終とする。
3. 使用球についての規格及び規則	R&A公認球リストを採用する。ワンボール条件は適用しない。
4. キャディとカート	各選手はラウンド中に乗用カートへ乗車することができる。(徒歩プレーの会場除く) 大会運営事務局とゴルフ場によって指定されたキャディ以外は使用できない。 違反があった各ホールに対し2打。 但し、1ラウンドにつき最高4打まで(違反のあった最初の2ホールに各2打の罰)。
4-2. セルフプレーの会場	キャディ付でない場合、カートのリモコンは、組合せ表の 1番の選手は1番目のホールから5番目のホール カートのリモコンを操作する。 2番の選手は6番目のホールから9番目のホール カートのリモコンを操作する。 3番の選手は10番目のホールから13番目のホール カートのリモコンを操作する。 4番の選手は14番目のホールから18番目のホール カートのリモコンを操作する。 但し、お互い了解の上各チームが9ホールずつカートのリモコンを操作する場合は、 順番をじゃんけんで決めることができる。
5. ホールとホールの間での 練習禁止	ホールとホールの間では、選手はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、 その近くではどのような練習ストロークもしてはならない。 この条件の違反の罰は、次のホールに2打課せられ最終ホールにおいては そのホールに2打課せられる。 (前半と後半のインターバル時での指定練習グリーンでのパッティング練習を除く)
6. 陰悪な気象条件・日没 などのため競技が 短縮競技となった場合 の順位決定	■全チームが9ホールズを消化している場合 → 競技成立 ■全チームが9ホールズを消化していない場合 → 競技不成立 本競技が短縮競技として成立した場合、下記の順でその順位を決定する。 【第1優先】全出場選手4名の9ホールズ合計スコア (3名出場の場合は同順位の中で最下位となる) 【第2優先】チーム内で第1に少ない打数の選手のスコア 【第3優先】チーム内で第2に少ない打数の選手のスコア 【第4優先】チーム内で第3に少ない打数の選手のスコア 【第5優先】チーム内で第1に少ない打数の選手の「カウントバック方式」 によって決定する。 ※ 短縮競技でもエントリーフィーやプレーフィーの減額は有りませんので 予めご了承くださいませ。
7. アドバイス	選手は同じチームのパートナー及びキャディからアドバイスを受けることができる。 なお、他のチームの選手にアドバイスを与えたり、アドバイスを求めたりした場合 にはJGAゴルフ規則第8条によりそのホール2罰打を付加する。

<p>8. 第2の球をプレーする場合の処置</p>	<p>ルールに疑問のある場合、1ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について問題をもった場合、その競技者は罰なしに第2の球をプレーすることができる。</p> <p>第2の球を打つ行動を起こす前に競技者は規則により許されれば、その球でのスコアを採用したいと思う球をマーカーに告げておくこと。</p> <p>どちらの球のスコアも同じであった場合を除き、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。</p> <p>※ 第2の球の処置をした場合は2つのスコアを記入し、スコアカード提出時に競技委員会の裁定をあおぐこと。</p>
<p>9. 空き時間の練習について</p>	<p>ハーフ終了時の空き時間において、指定練習グリーンでのパッティング練習は行っても構わない。</p>
<p>10. 選手変更について</p>	<p>出場選手の変更回数に制限はない。</p> <p>※ 2017年予選大会を通過し地区決勝大会へ出場する権利がある選手は、他の予選大会への出場不可。</p> <p>※ 2016年地区決勝大会シードチームの選手は、2017年予選大会への出場不可。</p> <p>2016年地区決勝大会シードチームの選手が2017年予選大会に出場する場合、チームのシード権放棄とみなす。</p> <p>※ 2016年全国決勝大会シードチームの選手は、2017年予選大会及び地区決勝大会への出場不可。</p> <p>2016年全国決勝大会シードチームの選手が2017年予選大会及び地区決勝大会に出場する場合、チームのシード権放棄とみなす。</p>
<p>11. クラブに関して</p>	<p>JGA付属規則Ⅱの4c(i)のペンデュラムテストプロトコル(R&A内規)の上限を超えるスプリング効果をもつクラブヘッド(いわゆる高反発クラブ)の使用を禁止する。</p> <p>※「クラブフェースの溝に関連する新しい規則」については本大会では採用しない。</p>
<p>12. 距離測定機について</p>	<p>距離測定器の使用は認める。</p> <p>但し、勾配や風速・風向を計測する機能を有する機器の使用は認めない。</p> <p>例)レーザー距離測定器で高低差が表示されるもの→使用不可(勾配を計測している)</p> <p>例)スマホ等携帯電話アプリの使用は、距離測定機能の他の分析機能を有する機種が多く疑わしい行為となり、他の選手の気を散らす原因になるので禁止とする。</p>
<p>13. 特設ティ、ドロップエリアの使用について</p>	<p>特設ティの使用は各会場の大会ローカルルールで定める。</p>

<p>14. プレーにおける規則</p>	<p>【JGAゴルフ規則6-7】プレーヤーは不当に遅れることなく、委員会がプレーのペースについてのガイドラインを決めているときはそれに従ってプレーしなければならない。なお、1ホールのプレーを終えたあと次のティーインググラウンドからプレーするまでの間もプレーを不当に遅らせてはならない。</p> <p>規則6-7の違反の罰は、ストロークプレーでは 2打。</p> <p>その後更に同じ違反があった場合は競技失格。</p> <p>＜当競技委員会のスロープレーに関するガイドライン＞</p> <p>スロープレーとは前の組と 15 分以上離れているのに急ぐ気配がないプレーの事を指します。あるホールで前の組と 15 分以上離れてしまって、マーシャルよりスロープレー警告が発生したが、次のホールで 15 分よりそれ以上遅れている場合はスロープレーと判断します。また、前半9ホールズを前の組より 15分以上遅れてホールアウトし、後半の9ホールズも前の組と 15分以上遅れてホールアウトした組はスロープレーと判断します。</p> <p>※通常、前の組との間隔は 7 分～8 分です。</p>
<p>15. タイスコア時の 決勝方法</p>	<p>【第1優先】全出場選手4名中、打数の少ない上位3名の18ホールズ合計スコア。</p> <p>【第2優先】全出場選手4名の18ホールズ合計スコア。</p> <p>【第3優先】チーム内で第1に少ない打数の選手のスコア。</p> <p>【第4優先】チーム内で第2に少ない打数の選手のスコア。</p> <p>【第5優先】チーム内で第3に少ない打数の選手のスコア。</p> <p>【第6優先】チーム内で第1に少ない打数の選手の「カウントバック方式」によって決定する。※ それでも勝敗が決しない場合は同順位とする。</p>
<p>16. 地区決勝大会・ 全国決勝大会が 競技不成立になった場合</p>	<p>■地区決勝大会において、陰悪な気象条件で競技不成立と判断された場合、前年の地区決勝大会シードの3チームと地区予選大会の上位チームをその地区代表として全国決勝大会への出場権獲得と定める。</p> <p>■全国決勝大会において、陰悪な気象条件で競技不成立と判断された場合、改めて日程を定め、開催する。</p>
平成29年2月1日	
全日本企業対抗ゴルフトーナメント	
競技委員会	